

## 令和5年度 学校関係者評価実施報告書（まとめ用）

学校番号	13	学校名	静岡県立浜松特別支援学校	記載者	佐藤 徹
------	----	-----	--------------	-----	------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
ア <授 業> 個別最適な学びと協働的な学びを実現する学校				
児童生徒が夢中になれる学校生活づくり	時期毎、取り組むべきことを明確化・焦点化した“学校生活づくり”を考えている。	A	A	<p>学校生活作りを柱に、合わせた指導と各教科の関連を整理したことで、子どもにとっても何を学ぶのかが分かりやすかったのではないかと思う。</p> <p>その時期の学習に夢中になって取り組める環境を設定できたことは素晴らしい。</p> <p>時期毎のテーマ設定は大変さもあるかと思うが、児童生徒皆さんの変化や成長に合わせて設定されていると感じる。</p> <p>その生徒にとって「学校生活をつくる」とはどういうことか、という事はとても大切だと思う。保護者の理解も大変だとは思いますが…。</p>
協働的な学びの充実	集団で取り組む（友だちと取り組む）良さを生かした授業を考え、実施している。	A	A	<p>児童生徒同士が学び合う姿が見られたことは素晴らしい。</p> <p>集団の中で協働、協調することを体験する場を意識して創れると良い。</p> <p>就学期間は集団の良さを知り、仲間づくりをする大切な期間だと思う。</p> <p>小・中・高の各学部での位置づけが変わってくると思う。課題にも書かれているが、教員間のコンセンサスは何よりも大切になると思う。</p>
個に応じた指導の充実	児童生徒の実態・課題を捉えた個別の教育支援計画や個別の指導計画の目標となっている。	A	A	<p>実態に合った個別の支援計画や指導計画を作成できたことは素晴らしい。</p> <p>個々の長所をいかした指導により、将来自信をもって生活できるよう支援してほしい。</p> <p>個別性に配慮した細やかな見直しがありがたい。</p>
自立活動の充実	流れ図を使って今指導すべき目標を導き出し、指導場面を明確にして指導を行っている。	B	B	<p>個別の指導計画などで理解ができて良い。</p> <p>全児童生徒について、実態把握から指導目標等を検討したことは大変評価できると思う。</p> <p>指導場面で流れ図の活用に至らな</p>

				<p>かった真の原因を確認すると良い。 今後の活用に期待する。</p>
合わせた指導の充実	<p><b>最良のテーマは何かを捉え、成就すべきことを明確にした単元を設定している。</b></p>	A	A	<p>個に合わせた指導がされていて良い。 児童生徒が今、何に夢中になり、何を成就すべきかを明確にした授業を行うことができたことは素晴らしい。 研修の日として検討日を設け、丁寧さを感じる。</p>
国語・算数/数学の充実	<p>学習指導要領の「目標と内容の一覧」を踏まえ、実態把握→目標設定→評価をしている。</p>	A	A	<p>学習指導要領に沿った目標と内容を設定し、評価することができたことは素晴らしい。 様々な特性の児童生徒がいる中で大変さもあると思うが、堅実に取り組んでいると思う。</p>
ICTの活用の促進	<p>機器やネットワークごと違うIDやパスワードを理解し効果的、効率的にICTを活用している。</p>	A	A	<p>ペーパーレスが進んできていることは素晴らしい。 時代に合わせた運用がされている。 ICTの活用が広がると思う。この便利さは認識しつつも、新しいものが導入されることにより、「こぼれていく人たち」をどうするかが、課題になると思う。</p>
本に親しむ児童生徒の育成	<p>授業の中で本に触れる機会を確保している。</p>	B	B	<p>学校応援隊で読み聞かせボランティアなどをもっとできると良い。 本を手に取りやすい環境を整えたことは素晴らしい。 読み聞かせは、ネットやICTが普及してもとても大切な経験スキルにつながると思う。 ICTの活用が広がると思う。この便利さは認識しつつも、新しいものが導入されることにより、「こぼれていく人たち」をどうするかが、課題になると思う。</p>
イ <安全> 命を守り、人権を尊重した安全で安心な学校				
緊急時の対応力の強化	<p>児童生徒・職員は、緊急時に自分で考えて自らの身を守る行動がとれる状態になっている。</p>	A	A	<p>避難訓練に繰り返し取り組まれたことは素晴らしい。 「自分の命は自分で守る」行動を習慣づけてほしい。 防災を我がことと考えることができていると思う。</p>
安全・快適な環境づくり	<p><b>安全・快適な環境をつくるために廃棄、片付け、清掃などに自ら取り組んでいる。</b></p>	A	A	<p>校内を参観させてもらった際も、廊下や教室がいつも片付いていた。 自分事として清掃や整理整頓に取り組む職員が増えたことは素晴らしい。 清掃や整理整頓は継続して取り組</p>

				<p>むことが大切である。</p> <p>清掃を習慣化することはとても大切だと思う。</p> <p>片付けが不十分である。</p>
事故防止の強化	危機管理マニュアルやヒヤリハットから学び、児童生徒の安全・安心を守っている。	A	A	<p>危機管理マニュアルやヒヤリハットから学び、事故防止につなげることができたことは素晴らしい。</p> <p>ヒヤリハットは他と比べ、発生頻度が高いと推察する。日頃の御苦労を想像すると頭が下がる思いである。</p> <p>ヒヤリハット事例はない方が良くかもしれないが、積極的に上げていくことが安全・安心につながる。</p>
人権等への徹底した配慮	児童生徒の模範となるよう、自他を大切にする行動を常に心がけている。	A	A	<p>人権意識が高まったことは素晴らしい。</p> <p>多様性の時代において、違いを認め合う文化はとても大切だと感じる。</p> <p>「人権」とは何か? 「人権意識」を高めるとは? 等、抽象的な言葉であるからこそ、教職員の共通理解は重要だと思う。</p>
ウ <協働> 家庭、地域、関係機関と協働して支援する学校				
就学前への相談支援の充実	保護者が安心して就学を迎えられるよう、相談会や説明会等の設定ができています。	A	A	<p>説明会アンケートで「理解に役立った」96.7%は素晴らしい。</p> <p>就学前のお子さん、親御さんは不安も大きいと思う。細やかな配慮がありがたい。</p>
学校への応援体制の構築	<b>教育活動に対して応援してくれる保護者・地域の関係機関・人が増えた。</b>	A	A	<p>安定した取組となることを期待している。</p> <p>学校運営協議会を通じても応援の輪が広がっていることは素晴らしい。</p> <p>浜特がさらに地域に溶け込めるよう応援していく。</p> <p>地域との関係作りに重点をおいており、とてもうれしく、頼もしく思う。</p> <p>「卒業生」も応援体制に組み込み、組織化することも視野に入れてはどうか。</p>
進路指導の充実	本人・保護者が様々な情報を元に主体的に進路を決定することができている。	A	A	<p>保護者に低学年のうちから情報発信があるので、意識が高まり良い。</p> <p>保護者「進路に関する情報を得て進路について考えることができた」95%は素晴らしい。</p> <p>進路先の開拓、継続雇用先との連携強化等、生徒の就職先の確保には注力していきたい。</p> <p>進路先も多様で大変さもあると思う。○年後を大切にしていってありがたい。</p>

様式第5号

				教職員の卒業後の社会に対する理解・認識が決定的に弱いと感じている。この点については、しっかりと見直す必要があると思う。
エ <チーム> 全教職員が主体的に学校づくりに参画する学校				
新たな浜特の創造	コロナ禍で変化した指導の在り方・働き方を今後どうあるべきかを視点に見直している	A	A	<p>感染予防で控えてきた学習内容や授業形態、行事の在り方について再検討し、見直すことができたことは素晴らしい。</p> <p>コロナ禍で培った指導体制、コロナ禍前の指導体制を再検討して、浜特のあるべき指導体制を確立していただきたい。</p> <p>無理のない範囲で地域との関わりや学校ならではの（集団活動）の活動が展開できればと思う。</p>
事務処理時間の確保	特別な場合は除き、週に複数回、事務処理時間が取れている。	C	C	<p>タスク委譲、断捨離で仕事量、また仕事内容の見直しができるとう良い。</p> <p>外部からの評価は難しいが、限られた時間の中でいかに処理するか工夫が必要。</p> <p>丁寧な取り組みをすればするほど発生してくる問題だと思うが、ワークライフバランスを大切にほしい。</p>
老朽化・狭隘化への対応	不用品の廃棄と必要物品の購入、不具合箇所の修繕を計画的に進めている。	A	A	<p>総務課と連携して不用品の廃棄や物品整備、施設整備のための予算を確保し計画的に執行することで快適な学習環境が整いつつあることは素晴らしい。</p> <p>引き続きの取り組みを期待する。</p>
倫理観の向上	不祥事0件	B	A	<p>処分対象となる不祥事は0件なので、目標に対しての評価はAで良い。</p> <p>不祥事はあってはならないこと。交通事故は少なくとも加害事故は0にしたい。</p> <p>安全意識をもっていると思うが、疲労や体調不良による注意低下も懸念されるので、体を大切にほしい。</p>